施策マネジメントシート(2021年度の振り返り、総括)

作成日 2022 年 7 月 日

基本 目標	I	誰もが安心でき安全でゆとりを感じるまち	主管課	名称 総務課 課長 桑原 孝治	SUSTAINABLE GOALS O
施策	8	生活安全対策の推進	関係課	観光商工課 商工振興係	3 saless 11 lecture 16 feets

	対象	意図			基本事業名	対象	意図
施					交通安全・防犯意識 の高揚		交通安全と防犯に対する意識を高 める。
策の	町民	犯罪被害、交通事故にあわな	基本事	2	交通安全・防犯設備 の充実	町民	交通事故や犯罪被害にあわない。
目 的	m) K	い、起こさない。	業	3	消費者保護対策の 推進	町民	消費者被害にあわない。
				4			

高齢者や幼児、児童や生徒、歩行者や運転者など、町民一人ひとりの交通安全に対する意識の高揚を図ります。 ・道路区画線、ガードレールやカーブミラーなどの交通安全設備の整備を図り、危険箇所の解消に努めます。

施策の 基本方針 ・防犯意識の高揚と、防犯灯・防犯カメラなど防犯設備の整備を図ります。

消費生活センターと連携し、相談しやすい体制をつくり、広報等を通じて消費に関する正しい知識の普及や被害を防止するため意識啓発を図ります。

	成果指標名	単位	区分	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
	A 交通人身事故発生件数	件	実績値	73	73	70	51	40	35	
	A 久迪八牙事以先生什么	17	目標値		70	67	64	61	58	55
施	B 刑法犯認知件数	件	実績値	86	75	64	78	50	57	
策の	10	17	目標値		84	81	79	76	73	70
成	過去1年間に、消費者被害を受けた町民の	%	実績値	8.4	7.1	9.5	6.6	7.8	6.8	
果指	割合	/0	目標値		8.1	7.8	7.5	7.2	6.9	6.6
標	D		実績値							
	D		目標値							
	E		実績値							
	E		目標値							

A) 直接的な設問であり、件数が減れば目的が達成されているといえるため成果指標とした。

交通人身事故統計年報により実数を把握 ※1月~12月の数値

B)刑法認知件数が増えると、身近で犯罪にあう町民が増加すると考えたため成果指標とした。 群馬県防犯推進レポートにより実数を把握

C)直接的な設問であり、数値が減少すれば消費者被害にあっていないといえるため成果指標とした。

町民アンケート(翌年度実施分)により把握

実績値の把握方法指標設定の考え方と

目標値設

定の考

`え 方

·状況

※過去1年間に、消費に関してだまされたり、納得がいかない思いをしたことがありますか。→「はい」と回答した人の割合

A)交通人身事故発生件数(町内)は、本町の人口が毎年2%減少していることも勘案し、成り行きでは毎年2件減少すると考える。目標として毎年3件の減 少を目指す。【交通人身事故第一当事者市町村別居住状況(人口10万人あたり(2016))沼田市:404人、片品村:281人、川場村:304人、昭和村:399人、 みなかみ町:423人】

B)刑法認知件数は、人口が毎年2%減少すると予測されるため、成り行きでは毎年2件減少する。目標では毎年3件ずつ減少させることとする。【(刑法認知

件数(2016))県:14,006件、利根沼田管内:386件、みなかみ町86件】 C)平成29年度アンケート結果では、「過去1年間に、消費に関してだまされたり、納得がいかない思いをしたことがありますか。」が8.4%となっている。消費 者被害が減少すればだまされることも減少すると考え、2022年度には約2%削減の6.6%を目指す。

施	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
の策	・交通安全を意識し、交通事故をおこさないようにする。	・関係機関と連携し、交通安全設備の整備を図る。
たの	・歩行者、運転手ともに交通ルールを遵守する。	・交通事故の防止を図るため、交通安全の啓発活動を推進する。
め目	・地域ぐるみで防犯意識を高め、犯罪にあわないようにする。	・信号や停止線、横断歩道など公安委員会への要望事項について、現状
の的	・自衛意識(防犯グッズ所持、戸締まり、危険な場所へは行かない等)を持って	及び必要性を具体的に伝える。
役•	行動する。	・地域の防犯活動を支援し、防犯意識を高める。
割目	・悪質商法など、消費に関する知識を身につける。	・警察等の関係機関と連携し、非行や犯罪の未然防止に努める。
分標		・消費者自身の知識向上と相談機能を充実させ、消費者の保護を図る。
担達		
元元		

1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?

- ・高齢者ドライバーの事故が多く、運転免許証の自主返納しやすい環境作りが
- ・振り込め詐欺や悪質商法、ネット関連、架空請求などの特殊詐欺犯罪は、ます
- ます巧妙になり被害額が大きくなる傾向にある。
 ・空き巣や自動車盗難は減少傾向にあるが、ここ数年増加傾向にある。
 ・ストーカー・配偶者からの暴力事案は件数こそ減っているものの、重大な結果 につながることもあり、また、児童虐待事案は増加する傾向にある。

施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?

- ・道路区画線の引き直し、ガードレールやカーブミラーの設置や修繕など、 交通安全対策を進めてほしい。
- ・通学路の安全対策を進めてほしい
- ・運転免許自主返納に伴い、運転経歴証明書の発行手数料の助成やバス カードなどの助成を求める意見がある。
- ・防犯カメラの設置を推進してほしい。

 施策
 8
 生活安全対策の推進
 主管課
 名称 総務課 課長 桑原 孝治

			実績比較	背景•要因
			かなり向上した。	①交通人身事故件数は、令和2年の40件から35件となり5件減少した。 ②刑法犯の認知件数は、令和2年の50件から57件となり7件増加した。 ③1年間の間に消費者被害を受けた町民の割合は、全年齢で令和2年度の7.8%から6.8%に減少した。
	① 時	7		③1年間の間に得賃有板舎を交けた町氏の割合は、至年間で行和2年度の7.8%から0.8%に減少した。 年代別では、30代が最も多く13.0%、次に40代で10.9%、それに続く50代は10.7%であった。
	系列比		ほとんど変わらない。(横ばい状態)	
施	較		どちらかといえば低下した。	
策の世			かなり低下した。	
成果水			かなり高い水準である。	①交通事故件数は、沼田警察署管内で令和2年の204件から223件となり19件増加している。沼田市は138件から165件となり27件増加、片品村は4件から7件となり3件増加、川場村は9件から4件となり5件減少、昭和村は13件から12件となり1件減少、みなかみ町は40件から35件となり5件減少となった。 負傷者数は、沼田警察署管内で276人から302人となり26人増加している。沼田市は182人から227人となり45人増加、片
準の分	② 他 団	V	どちらかといえば高い水準である。	頁場看報は、沿田警察者官内で2/6人から302人どなり26人増加している。沿田市は182人から22/人どなり46人増加、万田村は6人から8人となり2人増加、川場村は12人が7人となり5人減少、昭和村は、14人が13人となり1人減少、みなかみ町は、62人から47人となり15人の減少となった。 ②刑法犯の認知件数は、沼田警察署管内で令和2年の246件から236件となり10件減少している。沼田市は168件から
析と背	体との		ほぼ同水準である。	147件となり21件減少、片品村は18件から11件となり7件減少、川場村は4件から11件となり7件増加、昭和村は6件から10件となり4件増加、みなかみ町は50件から57となり7件増加となった。 人口1,000人あたりにすると、群馬県内で、沼田市は3.1件で19位、片品村は2.6件で25位、川場村は3.4件で16位、昭和
月 景 •	の 比較		どちらかといえば低い水準である。	村1.4件で31位、みなかみ町は3.1件で20位となった。利根沼田管内では昨年度と同じ、犯罪発生状況の低い方から3位となった。
要因の			, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	③令和3年度の沼田市消費生活センターへの相談件数は、令和2年度の351件から333件となり18件減少している。沼田市は244件から240件となり4件減少、片品村は10件から13件となり3件増加、川場村は12件から7件となり5件減少、昭和村は22件から22件で増減なし、みなかみ町は63件から51件となり12件の減少となった。
考察	3		目標値を大きく上回った。	①交通事故発生件数は、目標値58件に対して35件と23件下回り、目標値を大きく上回った。コロナウイルス感染症による自粛により県内外からの交通量が減少したことが主な要因と思われる。また、自動車の事故防止装置等の安全性能の向上などの要因も考えられる。
	目標	v	目標値を多少上回った。	②刑法犯認知件数は、目標値73件に対して57件と16件下回り、目標を大きく上回った。県内全体の刑法 犯も毎年減少しているが、悪質なケースが目立っているという。
	の達成		ほぼ目標値どおりの成果であった。	③過去1年間に消費者被害を受けた町民の割合については、目標値6.9%に対して6.8%と0.1ポイント減少したが、ほぼ目標値どおりとなった。
	状況		目標値を多少下回った。	
	//		目標値を大きく下回った。	

		基本事業名		成果指標名	単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
			Α	交通事故による人的被害者数(死	,	実績値	1/101	1/96	2/101	1/68	0/62	0/47	
	1	交通安全・防犯意識の高揚	Α	者/傷者)	八	目標値		0/100	0/95	0/90	0/85	0/80	0/76
	1	又過又至 防犯忠戚の同物	В	身近で犯罪にあう不安を感じてい	%	実績値	33.1	36	41.7	40.6	38.3	36.8	
基			Ъ	る町民の割合	/0	目標値		30.0	29.0	28.0	27.0	26.0	25.0
本			Α	過去1年間に、道路で危ないと感	%	実績値	49.1	51.4	53.2	53.2	50.8	56.1	
事	2	交通安全・防犯設備の充実	<i>1</i> 1	じた町民の割合	70	目標値		49.0	49.0	48.0	47.0	46.0	45.0
業		人起文王 例记改幅 07元天	В	市町村別人口1000人当たりの犯	位	実績値	21	23	24	19	24	20	
の			ט	罪発生状況県内順位	1.1/4	目標値		21	21	21	21	21	20
成			Α	消費者被害相談件数	件	実績値	41	51	58	75	63	51	
果指	3	消費者保護対策の推進	21	16 英 16 区	11	目標値		42	43	44	45	46	47
標		万克日	В			実績値							
1224						目標値							
			Α			実績値							
	4		- 1			目標値							
	1		В	2		実績値							
						目標値							

		基本事業名	今後の課題	今後の取り組み(案)
今後の	1	交通安全・防犯意識の高揚	取り組みが必要になる。 ②刑法犯の認知件数は、県内では15年以上連続で減少して	①新型コロナウイスル感染症対策を行いながら、各季の交通安全運動時の啓発活動や街頭指導、こども園や学校での交通安全教室など啓発活動を行うと共にPTAや警察、教育委員会、地区役員等と連携した活動を行う。 ②ネット詐欺や高齢者を狙った詐欺まがい行為には、啓発チランや防災アプリ・町のホームページ等を活用した注意喚起に取り組む。県で実施している高齢者や子どもを対象にした出前防犯講座を積極的に活用する。
の課題と取り組み	2	交通安全・防犯設備の充実	改修する必要がある。また、交通安全施設として必要な場所の確認を 行い設置をしなければならない。 ②夜間歩行者が通行する道路の点検(暗い箇所の把握)、女性や高 齢者・子どもなどにとって、防犯上危険な場所の確認を行い、防犯設 (農主教授事となどのできな	①各行政区や関係機関から要望・情報提供のあった交通危険箇所や老朽化した安全施設について、計画的な整備を進める。緊急性がある場合必要に応じ早急に対処する。②犯罪行為の抑止力として、大きな役目を果たすのが防犯カメラであるため、警察や行政区、関係機関と連携し計画的に設置を行う。
(案)	3			詐欺商法の情報やクーリングオフ等契約トラブルの対処の相 談ができる、消費生活センターについて広報等で広く町民に 周知する。また、相談内容に応じた対応を検討する。 高齢者を対象にした特殊詐欺等防止機能付電話機の導入を 促進する。
	4			

令和 4 年 7 月 19 日作成 (令和 年 月 日更新)

車	务事業	00000	12	交通指	计首形	/雷信	・車型	¥				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	4,772,0	000 ==							
77	カザ木	00000	70	又過1	4 5 7 18	处正点	3 7 *	κ.						尹未良	4,772,0	,00 11							
**	施策		08	生活安	- - - - - -	t等σ)推進	ŧ					新型コロナウイルスの影響により出動機会が	:	事業実績								
施策	2011											通秩序の確立及び交通事故の防止に努める。	激減したため、取り組みはなかった。										
体系	基本事	業	01	交诵安	昼安全・防犯意識の高揚														出動時間・出動回数				
					②事務事業の課題 消防・防災 係 小・中学校の交通安全教室などは別として、各種							②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策										
	組織名		á	総務						Į.		小・中字校の父通安全教室などは別として、各種	小中学校の統廃合などにより、出動機会の現象が見るまれるため、現場の空景が落何か	令和 2年度	令和 3年度	単位							
事業期間	継続	継続事業 会計 1 款 2 項 1 目 12						項	1	目	12	イントの火速主体をサンス変通行等員に出制してもらうのではなく、費用や話し合いがつけば、民間の警備会社に一部委託を検討。	まが、元とされるには、 現代の足員が週別が どうか検討していく。	20•72	43.96	時間・							

令和 4 年 7 月 19 日作成 (令和 年 月 日更新)

車務	香業	0000	04	交通領	- - - -	- 主統万	攻登事	工業			① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	883 6	658 円	
717	于木	0000	04	人地	X I Æ	V DEAT.	1 J. 7	**					于不具	000,0	700 1	
施策	施策		08	生活多	安全交	け策ℓ	の推進	<u>É</u>			四季の交通安全運動などを通じ、交通安全に対する意識啓発を行う。	なし		事業実績		
体系	基本事	業	01	交通安	安全・防犯意識の高揚						②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	→交通安全イベント実施回数			
	組織名		į	総務	Ī	課 消防・防災 係					課題なし	なし	令和 2年	度 令和 3年度	単位	
事業期間	継続	売事業		会計						目	BAAD 0-0		36	36		

令和 4 年 7 月 19 日作成 (令和 年 月 日更新)

車務	事業	0000	N8	办证	五安全	分架	施設組	#	告押当	工業		① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	5.268.3	384 🎞				
77 17	1 手术	0000	00	~ !!	<u> </u>	/1 /K	小巴口又们	ME 141	643	**				于不良	0,200,0	304 1				
施策	施策		08	生活	安全	対策	の推i	進				交通安全施設について、各行政区からの要望や 道路状況等を勘案し、必要に応じて整備を行う。			事業実績					
体系	基本事業	業	02	交通	i安全・防犯設備の充実 -									要望に対する設置率						
																②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策			
	組織名		;	総務		課		消防	ī•防災	\$	係		主に行政区長からの要望書により、必要と思							
												変単と位議 とり効果的に交通安全体設の数	われる物は順番に整備しているが、交付金の 対象にならないグリーンベルト、区間の長い	令和 2年原	令和 3年度	単位				
事業期間	継続	継続事業 会 1 款 2 項 1 目 1					1	目		洪ナ/に3.以 亜 パ セ Z	区画線やガードレールなど、予算規模から道路改修時ではないと要望に応えられない物も 多い。	60	69	%						

令和 4 年 7 月 19 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務	§事業	0000	005	利根浴	召田交	通安	そ全セン	ンター	-運営3	費負	担事業	① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	61,0	000 円	
施策	施領	策	08	生活	安全対	対策の	の推進	<u> </u>				交通センター管理費負担金の支払い事務。セン ターへの負担金を支払うことにより、運転免許更 新者及び交通安全教育を実施、交通事故を未然 に防ぐ交通環境の醸成に役立っている。	なし		事業実績		
体系	基本	事業	01	交通	通安全・防犯意識の高揚 -							②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	一町内人身事故発生件数			
	組織名		i	総務						1	係	課題なし	なし	令和 2年	度 令和 3年度	単位	
事業期間	継	送続事 業		会計 1 款 2 項 1 目 12				1	目	12	BARELY & C	140	40	35	件		

令和 4 年 7 月 19 日作成 (令和 年 月 日更新)

												71 1 2 4/17					
車発	事業	0000	001	R‡ XI	D意識	改登	主業					① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	- 事業費	124	700 円	
7-12	7.	000	JO 1	10.00		1 70	, + *							子 本吳	124,	700 11	
15-	施	笙	08	生活	5安全	分集	の推済	·#				帝へ凹莧のするための事務。	特殊詐欺等防止機能付き電話機等購入費補助金制度を啓発し高齢者の被害防止に努め		事業実績		
施策	ne.	*	00	1.	JXI	/1 /K	. V)]E.					また 必要に応して 仮犯及棄品を購入し配布す	た。				
体系	基本	車業	01	赤泽	五字	マ全・防犯意識の高揚 -								- 緊急メール配信回数			
	- 本本	事 未	UI						1191			②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	素心ケール自	比旧巴奴		
	組織名			公 致		##		治际	R L «	<	12.						
	祖 (4)		i	心力	於務 課 消防·防災 係						床	粒~ナフンなどでは于遅れになる心味もめり、ダ	特殊詐欺等防止機能付き電話機等購入費補助金制度と、啓発チラシの配布等を通じ、防	令和 2年	度 令和 3年度	単位	
事業	£ 1:		t	会計 款 2 項 1 目 13					1	В	12		犯意識の高揚を目指す。	3	0		
期間	THE STREET							*5	'	П	13				0 0		

令和 4 年 7 月 19 日作成 (令和 年 月 日更新)

車数	事業 000	0002	R∓ XI	D灯設	需弗	3 左击 日 h 3	車 丵				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	604.0	000 円	
777	9 00	7002	וני נעון	CNIX	旦貝	THI PYI	尹木						事 未良	004,0	700 11	
施策	施策	08	生活	舌安全	対策	の推i	進				・行政区等か設直する防犯別の設直質の補助	新設4万円、更新2万円を補助することで、 新設11件16箇所、更新2件2箇所の申請が あった。件数および箇所数が若干減少した。		事業実績		
体系	基本事業	02	交通安全・防犯設備の充実								<u> </u>		- 申請数			
											②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策				
	組織名		総務 課 消防・防災 係							係		補助制度を利用していただき、各行政区が防 犯灯を設置し電気料等の維持管理も負担し	令和 2年度	を 令和 3年度	単位	
事業期間	継続事	業	会計 款 2 項 1 目 13					1	目	13		北別で改直し電気科等の維持管理も具担してもらう。	14	13	件	

令和 4 年 7 月 19 日作成 (令和 年 月 日更新)

車	務事業	0000	202	防犯抗	カムゴ	·	巨坐					① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	150 1	138 円		
	伤争未	0000	<i>J</i> U3	נו בוני נעו	加云廷	- 西司	尹禾							尹未其	132,1	130 🗇		
施	施	拖策	08	生活到	安全対	策0	の推進	Ì				犯罪のない明るい町づくりをめざし、防犯活動を 推進するための組織である防犯協会の会議等を	なし		事業実績			
策体												開催する。						
系		本事業	02	交通安全・防犯設備の充実										会議等開催	会議等開催件数			
												②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策					
	組織名	ጟ		総務	Ē	果	3	当防·	- 防災		係							
	12197			אן אלון נאורוי און נגיטיוי				19324			課題なし	なし	令和 2年	度 令和 3年度	単位			
事業期間		継続事業	全計 1 款 2 項 1 目 13					項	1	目		IN ALL U.S.		0	0	□		

令和 4 年 7 月 19 日作成 (令和 年 月 日更新)

車至	务事業	000	001	R∓ XI	口記供	維世	· 管理	主坐				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1 565 9	840 円	
71	力学术	000	001	וני נעו	じ以岬	小肚丁寸	7 E 4± •	尹木						尹 未貝	1,303,0	,40 1	
	施	策	08	生活	安安子	学校	その推済	隹				町が管理する防犯灯の電気料金の支払と照明器 具交換等の修繕を行うことによって、町民の安	なし	:	事業実績		
施策	,,,,											全・安心を推進する。					
体系	基本	事業	02	交通安全・防犯設備の充実					主実					修繕箇所数·設置箇所数			
		, ,,,				193	, o u.x () ii	, , ,				②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	12,122,7134			
	組織名			総務	:	課		消防	5•防災	ç	係						
	144,564,1114			#© 495				713 HV.	7 (6) 7	災		行政区をまたぐ場合の防犯灯の設置費及び管理		令和 2年度	令和 3年度	単位	
事業期間		迷続事業	É	会計	1	款	2	項	1	目	13	方法。	金を活用して設置する。	4•374	9•383	箇所	

令和 4 年 7 月 19 日作成 (令和 年 月 日更新)

												77				
事務	事業	0000	005	駐右	E所用	地管	理事	業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	234,1	181 円
施	施金	策	08	生活	安全	対策	の推済	進				 月夜野駐在所、須川駐在所用地を土地所有者から町が借り受け、沼田警察署に貸し付けている。	なし		事業実績	
策												ら明が旧り受け、沿山吉泉者に負し切けている。				
体系	基本	事業	02	交通安全・防犯設備の充実										月夜野・須川)		
												②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	課題解決策		
	組織名			纵致		# ⊞		治氏	. R± <<	<	Æ					
	祖報石		i	総務 課 消防・防災 係					1-100 9		床	課題なし	総合戦略課へ移管	令和 2年	度 令和 3年度	単位
事業期間	継	继続事業	会計 1 款 2 項 1 目 13						1	田	13	原本及性 (よし	◆○口 刊、町は水・、197 日	375•503	375•503	m²

令和 4 年 7 月 19 日作成 (令和 年 月 日更新)

車黎	事業	0000	206	R+3I	D設備	敷供	主要					① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	756.9	300 円	
77 17	于木	0000	500	ונינשו		ᄑᄢ	于木							于不良	700,0	300 11	
施	施策	ŧ	08	生活	舌安全	対策	の推i	進					防災駐車場付近に防犯灯付き防犯カメラを2 筒所、防犯灯を6筒所設置した。		事業実績		
策													直が、例が以を0回が設置した。				
体系	基本事	業	02	交通安全・防犯設備の充実										整備数(累計設置数)			
												②事務事業の課題 ④今後の方針・課題解決策					
	組織名		i	総務		課		消防	片•防災		係						
							/H		j•防災				各行政区の要望や警察の意見も取り入れ、	令和 2年度	令和 3年度	単位	
事業期間	継糸	続事業		会計	1	款	2	項	1	目	13	設置場所の検討が必要となる。	優先順位をつけて整備を行う。	6(42)	2(44)	箇所	

令和 4 年 7 月 19 日作成 (令和 年 月 日更新)

車数	S事業	000	007	R± XI]分生	弗召	担事	*				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	107 1	141 円	
717	中木	000	507	וני נעו	2 X J X	贝贝	175字:	*						尹未貝	437,1	141 13	
+/-	施領	轰	08	牛兒	安全	分策	の推済	准				賛同、参画する各種団体に負担金を支払い、団 体の活動を通じて町の防犯対策の推進を図る。	なし		事業実績		
施策	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,											H29年度より事務事業を1本化した。					
体系	基本	事業	02	交通安全・防犯設備の充実										負担金等支払い件数			
												②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策				
	組織名		i	総務		課		消防	· 防災	٤	係						
				会計 1 款 2 項 1 目 13								課題なし	なし	令和 2年月	度 令和 3年度	単位	
事業期間	継	続事業							1	目				4	4	件	

令和 4 年 7 月 29 日作成 (令和 年 月 日更新)

車数	事業	00000	1	消費生	エナ、	/4—滔	6 一 典	各坦:	車 坐		① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1.931.5	70 III	
777	尹木	00000	'	州貝工	/G C -	/	5百只	(只压)	尹木					1,301,0	,,,,,	
施策	施策		08	生活安	全対領	策の推	進				沼田市消費生活センターに業務委託。契約や取引に関する消費者トラブルで困ったときの相談窓口を開設している。	消費生活センターニュースの配布等による広 報活動を行ったが、以前に比べ相談件数が 減少した。	事業実績			
体系	基本事:	*	03	消費者保護対策の推進									沼田市消費生活センター相談件数 (みなかみ町分)			
	至平事:	*	03								②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策				
	組織名		観決	光商工 課 商工振興				振興		係	消費生活センターの認知度の向上。	相談数が減少した結果が、消費者知識普及 事業による成果なのかあるいは別の要因な	令和 2年度	そ 令和 3年度	単位	
事業期間	継続	事業		会 1 款 7 項 1 目 1			目	1	/内具エルピンターV/BOAI及VIPI上。	のかが不明なため、その理由を明確化するのが今後の課題の1つである。	63	51	件			

令和 4 年 7 月 29 日作成 (令和 年 月 日更新)

			л			IFI		•	מיז נו			л	口文初/						
事 務	事業	0000	002	消費	1. 閏-	する	知識音	些乃 国	主堂			1	事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、	その結果	事業費	67	.980 円	
7- 12	7 + *	000	JUL .	711 92	(2)	, 0	УН ДЬЖ. Б	- ~	-~								Ο <i>γ</i> ,	,500 11	
+4=	施	策	08	生活	安全	対策	の推	進						県や消費生活センターと連携した啓 び高齢者向け啓発パンフレットの作り	発活動及 成·配布	1	事業実績		
施策体系												しい知識を広く 活の安定を図る	周知し、個人の意識啓発と消費生 。。	を行い、消費者の知識の蓄積を図っ	ot=.				
14 系	基本	事業	03	3 消費者保護対策の推進												消費者に関する啓発活動の回数			
		•										(2	事務事業の課題	④今後の方針・課題解決	策				
	組織名		毎日 -	光商二	_	課		茜丁	- 振興		係								
	一、地址中		⊭JL.	/C P] =	_	I		101-	商工振興		DK	广榀坦 載 改祭	チェン同覧等による知識の萎積	引き続き、県事業及び消費生活セン	グーと連	令和 2年度	令和 3年度	単位	
事業	su su	迷続事業	事業 計 款 7 項 1 目 1						1	В	1	─広報掲載、啓発チラシ回覧等による知識の蓄積。		携し、消費トラブルに関する啓発活動	助を行う。	10	10		
期間	45	小儿子才	統事業 計					'	1	1				10	10	П			